

私立大学情報教育協会
平成29年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

F-3班 ハンマー65

発表テーマ

あふれる情報のなかで
気づきの機会を提供する

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

受動的でなく、能動的に社会に貢献する人材を輩出する

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか



自立・成長するための平等な機会を提供する。

テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

- ・大学が学生に提供する情報量が多い。
- ・事務局側が伝えたい情報と、学生が興味のある情報の乖離
- ・受動的な学生が多く、大学側が情報を提供していても、受け取っている学生とそうでない学生との間に差が生まれている。

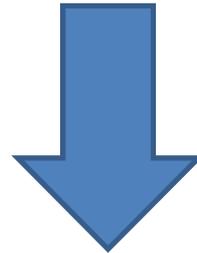
役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

ポータルサイトを補完する形で、学生相互で情報交換できる仕組みを検討する。

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

確実に必要が情報が必要な学生に届くことが重要。
しかし、現状はそうっていない



あふれる情報の中で
気づきの機会の提供

問題点の深堀

他グループと問題点を共有するために、グループ討議で話し合われたことを列挙する。

学生側の問題点

- ・ポータルサイトを学生が見ていないことがある。
- ・能動的に情報を取捨選択する手段を知らない。

ポータルサイトの問題点

- ・それぞれの部署が情報を掲出するため、情報の重要度が分かりにくい。
- ・情報過多のため、様々な機会の損失につながっていく。



- ・**情報取得の機会が失われる。**
- ・**結果として窓口にお問い合わせが集中する。**

解決策の検討

他グループと、解決策が導き出されたプロセスや、背景にある考え方を共有するために、グループ討議で話し合われたことを整理して記載する。

学生同士の口コミに注目！

大学のイノベーションの提案

・提案の概要

新入生オリエンテーションなどでポータルサイトの使い方を上級生から伝授する仕組みの確立

・具体的な施策

ポータルサイトの利用について、経験談(就職情報・講座・留学情報 etc)を上級生から新入生に伝授する場をつくる。

・これを実現するために、どのようなアプローチが必要か。

新入生オリエンテーション・大学のカリキュラムの一環としてなどで行なう。

既存の学生団体の活用または、新たな学生サポートコミュニティの設立

大学のイノベーションの提案

・提案の概要

情報の重要度が分かりやすく、検索性の高いポータルサイトの構築
教員・職員・学生いずれにとっても情報を取り出しやすいシステムへ改善

・具体的な施策

利用者でもある学生サポーターからの意見を取り入れる体制を整え、更新に活用する。

・これを実現するために、どのようなアプローチが必要か。

将来的には、既存の各システムとの相互乗り入れおよび統合を中長期的な計画に据える。

大学のイノベーションの提案

以上のような施策により、学生に
気づきの機会をより多く提供する。

これにより、能動的で社会に貢献する
学生の育成を目指す。